
えんじょい・CM

ロード 14 / 14

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

えんじょい・CM

【Nコード】

N1520F

【作者名】

ロード14 / 14

【あらすじ】

売れない俳優・岩永亮が初めてCMに出る！！でもCMってとてもツライんだよね

(前書き)

勢いで書きなぐった

俺の名前は岩永亮。

つい最近までは売れない俳優だったが、マネージャーからCMの依頼が舞い込んだ今楽屋に来ている。

このチャンスはなんとしてもものにしたい。

今回のCMで一つ俺の役者魂を見せ付けて、まあ一気には言ないから徐々に徐々に上がっていきたい俺にとってこのチャンスは死んでも放さない！！
放したくない！！

「じゃ打ち合わせしますね。」

というわけで大して広くもないこの楽屋に今回のCMの担当者っぽい人からCMの予定を聞くこととなった。

ふ……下積みだけはしてきた俺だ。

砂を噛むような経験だっしてきた。

どんなCMだろうー発ノーマスで決めてやる。

「はい。じゃあ岩永さんにやってもらう今回のCMはペットフードのCMですね。」

「はあ。」

ふん、ペットフードとはな。

これでは犬主体の撮影になってしまうではないか!!

まあ犬以上に見た人を引き付けるような演技をすればよいな。

「それですね、岩永さんにはこれを付けて犬役として出てもらいます。」

そう言つて担当者さんが机の上に置いたのは俗に言う犬耳と犬の尻尾だった。

ふむふむ

犬役ねえ

「え?」

思わず頷いちった。
犬、とな?

「こ、これを付けろと?」

「はい。」

「犬役として？」

「はい。」

ちょっとマネージャーさん聞いてないんですけど俺！？

「あ、勿論犬になりきるために服などは一切着ませんので。付けるのは犬耳と犬の尻尾だけです。」

「裸じゃないですか！？なんで服ないんですか！？？」

「はぁ……まあ予算の関係というか……」

「予算ないの！？」

「はい……国家の……」

「国营CM！？」

急に話がでかくなつたなオイ！？

「じゃあ股間とかどうするんですか！？色々マズいでしょう裸は！？」

「あ、そこは上手く撮影しますんで。」

なんかヌードの撮影みたいな話になってきたな。

「大体、この尻尾どうやって付けるんですか？裸じゃ無理ですよ。」

「あ、それはケツの穴に突っ込んでください。」

「ケツウ！？」

しまった、思わず大声出してしまった。

これケツの穴にさすんですか！？

相当無理ありますよ？

「よくほぐしてから入れるんで多分いけますよ。」

「誰がほぐすんですか！？」

事と場合によっちゃあ、破談しますよ。

「その手のプロです。」

「新宿二丁目の香りがプンプンしてきました。」

「で、ですね。この犬耳なんですけど……」

スゲーな、堂々無視かよ。

この人が担当者さんじゃなかったら確実に殴ってるぞ。

「カチューシャタイプの犬耳ではないので、頭に打ち込むかたちとなりますね。」

「打ち込む！？」

あ、新しすぎる!!

確かによく見たらこの犬耳、付け根に鉤爪みたいな金属がありますね。

見るからに痛そうなのが。

「頭蓋骨に直接打ち込むタイプのと、脳みそに差し込んで引っ掛かる骨針タイプのと二種類あるんですが。」

何そうエグいことサラツと言っちゃってんのこの人!!

「なんで犬耳がこんなのに……?」

「予算の関係で……」

嘘つけや!!

二種類用意する余裕あったら少しは普通のにまわさんかい!!

「で撮影内容なんですが」

「ちょちょちょ!! ちょつと待ってください!! なんでもう出る流れなんですか!? まだ承諾してないですよ!？」

こんな頭に犬耳打ち込まれるような仕事、下積み時代にもなかったわ!!

「いえでも、代わりの役者さんもいないですし……それにこのCM出れば結構有名になれますよ?」

「そ、そうなんですか？」

「まあ……生きてれば………なんですけどね。」

「え？今何て！？」

「それで撮影内容なんですけどが……」

今この人絶対不幸なこと言っただよー！

俺と目合わせようとしないうもー！！

しかし乗りかかった船だし、最後まで聞いてみよう。
聞くだけなら損はない。

「内容はですね、岩永さんと二匹の犬で新商品のペットフードを奪い合ってください。」

まず確実にゴールデンの時間帯では流せないCM確定。

「それで岩永さんがそれを食べてこう言うんですよ。『Donaldがハンバーガーを好きなくらいに、岩永もペットフードが大好きなんだ。』って。」

「言っ方がいいんですかそれ？」

マクドナルドにケンカ売ってませんか？

ピエロ紛いのアレと戦うのはイヤだよマジで。

「注意点ですがペットフードは死ぬほどマズいので、撮影終わるまで吐かないで下さいね。」

「そんなにですか!？」

吐くくらいマズいって犬はそれに近付くの!？
近付けるの!？

「勿論犬が近付かない可能性もあるので、岩永さんには犬を惹きつけるバターを塗ってもらいます。先陣切ってください。」

「なんか犬の目標がペットフードから僕に代わってませんか？」

文字通り俺はバター犬になるのか。

そして俺がこのCMで惹きつけるのは人ではなくて犬とはね。
悲しくなってきたよ。

すごくね。

「あ!？とここで犬って何が来るんですか!？」

今までの話の流れからしてスゴいの来ちゃいそうなんだけど!？

「チワワとミニチュアダックスフンドです。」

この勝負もらった!!

いや別に犬と争うつもりはないけど、チワワとミニチュアダックスフンドよ？

負けたら人間失格っすわ。

「じゃそろそろ撮影入りますんで。行きましょう。」

「え！？犬耳と尻尾は！？」

「裸なら問題ないです。」

そこが重要なの！？

裸が大事なのね！？

よくわかりました！！

取り敢えず撮影の現場まで来たのだが、関係者も結構集まっている。どうやら俺待ちのようだった。

「じゃ紹介しますね。チワワさんとミニチュアダックスフンドくんです。」

紹介された先にいたのは二匹のドーベルマン。

涎垂らしながらバイクの空フカシみたいにグルグル唸ってます。

「ドーベルマンの『チワワくん』『ミニチュアダックスフンドくん』です。」

「んなバカな！！」

なんで!?

名前がチワワとミニチュアダックスフンドで、犬種がドーベルマンなんて!!

詐欺にも程があるぞ!!

しかもなんだよ!?!名前にミニチュアダックスフンドって、犬ナメてんのかコラ!?

「君が岩永くんか。大丈夫。その犬はよほどのことがない限り襲わないよ!!」

監督らしき人がそう声をかけてきた。

僕はそのドーベルマンを惹きつけるためバター犬になるよう言われたんですがね!?

どうですかねその事については?

「大丈夫さ。十分あの子たちを惹きつけてくださいね。」

満面の笑みで担当者さんはそう言ってきた。

惹きつける前にひきつけ起こしそうですねですけど……

「あ、それと噛まれないよう十分注意してくださいね?チワワちゃんとミニチュアダックスフンドくん、まだ狂犬病予防接種受けてないから。」

帰っていいすかね?

真面目にやろうよ。

命掛かってんだから。

やる俺の方もどうかと思うけどさあ

「それと、二匹とも今が発情期なんで掘られないように気を付けてください。」

さっき話してたその手のプロってチワワくとミニチュアダックス
フンドくんのことだったの!?

「そろそろ撮影はいりまーす。成功しても失敗してもチャンスは一回なんで気張ってきましょー!!」

何でチャンス一回なんだ?

不吉な予感がバリバリしますが?

いざ撮影の時に、担当者さんが耳元でボソリと呟いた。

「最後にもう一つ、あの二匹、もう五日もご飯食べてないんですよ。」

「俺餌確定じゃん!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1520f/>

えんじょい・CM

2011年1月13日14時15分発行